

# 令和5年度おおさか気候変動対策賞特別賞 (愛称：“涼”デザイン建築賞) 表彰建築物の概要

(五十音順)

## 大阪貨物センター



### 【ヒートアイランド対策の取組概要】

- ・空地率を 72.58%確保し、敷地内の歩行者空間に風の通り道を確認している。また、周辺水路・道路に面して緑地を設け、建物の形状・配置を考慮して風下となる地域への風通しを配慮している。通風のよいメッシュフェンスにする等、風の通りを阻害しない外構計画としている。
- ・中・高木 125 本、ピロティ・庇 2658.95 m<sup>2</sup>等の水平投影面積率を 31.86%確保し、日影の形成に務めている。
- ・蒸散効果のある芝生や緑地、中・高木を地表面対策面積率 31.04%を確保し、また、屋根・外壁材に遮熱性・断熱性の高い遮熱塗装品の二重折版およびイソバンドを選定することで、敷地外への熱的な影響を低減している。

建築主	セイノスーパーエクスプレス株式会社		
設計者	(対象者なし)		
所在地	門真市東田町		
延べ面積・構造等	11,469m <sup>2</sup> (RC造、S造、地上4階)		
用途	工場(倉庫)、事務所		
CASBEE 総合評価	B+ランク	BEE値	1.4
ヒートアイランド 対策に関する CASBEE 評価	Q3-3.2 敷地内温熱環境の向上		4.0
	LR3-2.2 温熱環境悪化の改善		3.0
	(平均)		3.5

## カサーレ鶴見ノースプレイス



### 【ヒートアイランド対策の取組概要】

- ・歩行者通路空間沿いに積極的に緑地空間を形成し、まとまりのある日陰を形成することで、敷地内の温熱環境の向上に努めている。
- ・建物をセットバックさせ、空地率を70%確保することで風通しに配慮した計画としている。
- ・まとまりのある緑地を確保することで、植物の蒸散作用を利用して、建物周辺の暑熱環境の緩和に努めている。
- ・歩行者通路空間の路面にインターロッキングを採用することで、敷地外への夏季の照り返しによる熱的な影響を軽減する計画としている。

建築主	アートプランニング株式会社		
設計者	株式会社 D&D建築設計事務所		
所在地	大阪市鶴見区横堤		
延べ面積・構造等	4,361m <sup>2</sup> (RC造、地上15階)		
用途	集合住宅		
CASBEE 総合評価	B+ランク	BEE値	1.1
ヒートアイランド 対策に関する CASBEE 評価	Q3-3.2 敷地内温熱環境の向上		4.0
	LR3-2.2 温熱環境悪化の改善		3.0
	(平均)		3.5

## 関西大倉学園 共用棟・高校棟

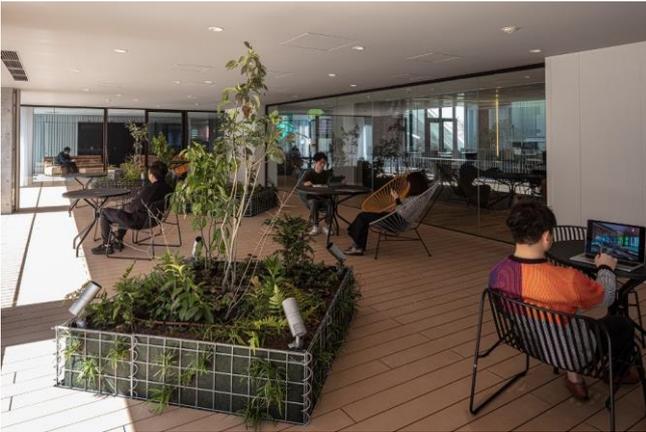


### 【ヒートアイランド対策の取組概要】

- ・里山に囲まれた豊かな自然環境を活かし、既存の緑地を最大限保全した。
- ・北西からの卓越風を校舎内に取り込むような配棟計画とした。
- ・各棟は大庇やピロティを設け、日陰の形成に努めた。
- ・敷地全体の風の通り道を確保するため、校舎間の隣棟間隔を 0.4 以上となるよう配慮した。
- ・空調設備に係るエネルギーの効率的利用のため、外壁のガラス部は高性能の Low-e ペアガラスを採用した。

建築主	学校法人関西大倉学園		
設計者	大成建設株式会社一級建築士事務所		
所在地	茨木市室山		
延べ面積・構造等	11,847m <sup>2</sup> (RC 造、一部 S 造、地上4階/地下1階)		
用途	学校(中学・高等)		
CASBEE 総合評価	B+ランク	BEE値	1.4
ヒートアイランド 対策に関する CASBEE 評価	Q3-3.2 敷地内温熱環境の向上		4.0
	LR3-2.2 温熱環境悪化の改善		3.0
	(平均)		3.5

## 近畿大学 E 館 (KDIX)



### 【ヒートアイランド対策の取組概要】

- ・既存緑地を極力残して再整備し(1,510 m<sup>2</sup>)、高木の保存や再移植(計 110 本)や軒下・ピロティなどの地上部の日影外部空間(140 m<sup>2</sup>程度)を計画して日影やクールスポットの創出に努めた。
- ・学生の活動拠点の一つとして屋上テラス(約 60 m<sup>2</sup>×3 か所)、軒下テラス(約 104 m<sup>2</sup>×1 か所)を設け高木・中木・登坂用緑化ワイヤーで立体ランドスケープを形成し敷地内歩行空間の暑熱環境を緩和した。
- ・既存緑地の保存、新植高木を用いない外構計画(全再移植)として 165 本の高木のうち残置・再移植・他エリア修景で 110 本を用いて敷地外への熱的な影響を低減した。
- ・空調室外機等はすべて屋上に配置し、敷地外への熱的な影響を低減した。
- ・北側は勾配屋根とし、北側隣地への日射や景観の確保に加え、南からの風を遮る影響を低減した。

建築主	学校法人近畿大学		
設計者	・株式会社 NTT ファシリティーズ一級建築士事務所 ・五洋建設株式会社大阪支店一級建築士事務所		
所在地	東大阪市新上小阪		
延べ面積・構造等	8,702m <sup>2</sup> (RC 造、一部 S 造、地上4階)		
用途	学校(大学)		
CASBEE 総合評価	S ランク	BEE値	3.3
ヒートアイランド対策に関する CASBEE 評価	Q3-3.2 敷地内温熱環境の向上		4.0
	LR3-2.2 温熱環境悪化の改善		4.0
	(平均)		4.0

# クボタグローバル技術研究所



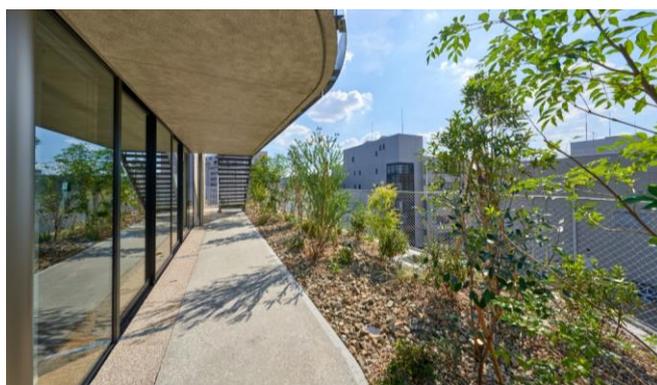
設計研究棟に降った雨水を集め、レインガーデンに流す

## 【ヒートアイランド対策の取組概要】

- ・雨水を一時的に集水し、時間をかけて地下へ浸透するレインガーデン、再利用水を使用した水盤により、敷地内の温熱環境の向上を図っている。
- ・空調室外機、冷却塔、ガス給湯器の廃熱はすべてGL+10m以上で排熱し、歩行空間の暑熱環境を緩和している。
- ・ピロティやアプローチ庇、庇の効果のあるテラスにより、歩行者空間に日陰を創出している。
- ・庇や太陽光発電パネルによる屋根面の日射遮蔽や断熱強化により熱負荷を削減することで、空調による大気への廃熱を最大限抑制し建物全体で Nearly ZEB を取得している。
- ・チラーは散水による排熱の低温化や地中熱利用により気温上昇抑制に努めている。

建築主	株式会社クボタ		
設計者	株式会社大林組大阪本店一級建築士事務所		
所在地	堺市堺区匠町		
延べ面積・構造等	94,404m <sup>2</sup> (S造、地上7階)		
用途	事務所		
CASBEE 総合評価	Sランク	BEE値	3.2
ヒートアイランド 対策に関する CASBEE 評価	Q3-3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0
	LR3-2.2 温熱環境悪化の改善		4.0
	(平均)		3.5

## 光亜興産株式会社 本社ビル



### 【ヒートアイランド対策の取組概要】

- ・歩道に沿った中高木により木陰を作るとともに庇下のピロティ空間を確保。敷地面積比 43%の日陰を形成。
- ・外構部・屋上やバルコニー部・屋外階段を緑化し、敷地内暑熱環境を緩和。また舗装面積を 10%以下に抑える。
- ・人の出入りできる屋上・バルコニー部はすべて緑化。外壁面も緑化かごを設け、つる性植物の垂下によるグリーンカーテンを形成。
- ・空調室外機はすべて屋上に設置。また室内の機械換気排熱はほとんどを GL+10m以上に設置。
- ・都市公園に面した建物北側を、卓越風向に沿った南西⇄北東方向の段状にセットバックし、公園と北東側の住宅地への風の道を確保。
- ・地表面の緑化により地表面対策面積率 72%を確保。屋上緑化とバルコニー・屋外階段緑化により敷地外への熱的影響を緩和。

建築主	光亜興産株式会社		
設計者	株式会社日建設計一級建築士事務所		
所在地	門真市末広町		
延べ面積・構造等	2,007m <sup>2</sup> (S造、地上5階)		
用途	事務所		
CASBEE 総合評価	A ランク	BEE値	1.6
ヒートアイランド 対策に関する CASBEE 評価	Q3-3.2 敷地内温熱環境の向上		4.0
	LR3-2.2 温熱環境悪化の改善		3.0
	(平均)		3.5

## シエリアタワー大阪天満橋



### 【ヒートアイランド対策の取組概要】

- ・敷地内の日照・植栽条件に応じた中高木および緑地を設けることで日影を形成し、敷地内歩行者空間の暑熱環境緩和に配慮している。
- ・建物利用者が自然に親しめるように緑地に付随するプレイロット(公開空地)を設けることにより、歩行者が快適に利用出来る歩行空間を計画した。
- ・敷地内歩道と車路に透水性インターロッキングブロック舗装を整備し屋上に自動灌水設備を設置することでヒートアイランド対策に配慮している。
- ・北側の空地には季節感を感じるサクラやモミジを配置し、敷地外から繋がる歩道状公開空地を含めた歩行空間を彩ることで、周辺の自然豊かなまちなみと調和するよう配慮している。

建築主	関電不動産開発株式会社		
設計者	株式会社長谷エコーポレーション 大阪エンジニアリング事業部 一級建築士事務所		
所在地	大阪市北区天満		
延べ面積・構造等	18,292m <sup>2</sup> (RC造、地上30階/地下1階)		
用途	集合住宅		
CASBEE 総合評価	Aランク	BEE値	1.5
ヒートアイランド 対策に関する CASBEE 評価	Q3-3.2 敷地内温熱環境の向上		4.0
	LR3-2.2 温熱環境悪化の改善		3.0
	(平均)		3.5

## ライオンズ茨木総持寺ステーショングラン



### 【ヒートアイランド対策の取組概要】

- ・敷地内外の歩行者空間に風を導くよう建物形状・配置に工夫し、空地率を 62%確保した。
- ・外構に中・高木を 123 本植樹し水平投影面積率を 27%、また低木・地被の緑被率を 20%確保し、日陰の形成及び、敷地内外の歩行者空間の暑熱環境の緩和に努めた。
- ・外構に緑地 1337 m<sup>2</sup>、中・高木 123 本を設けることにより、地表面対策面積率 74%を確保し、敷地外への熱的な影響を低減した。
- ・隣棟間隔指標を 0.5 以上とし、建物後流域での風の回復に努めた。
- ・断熱等性能等級 4 を超える水準の断熱性能を確保及び、建物全体の BEI=0.66 とし、エネルギーの効率的利用のための措置を講じた。

建築主	株式会社大京 大阪支店 関電不動産開発株式会社		
設計者	株式会社長谷工コーポレーション 大阪エンジニアリング事業部 一級建築士事務所		
所在地	茨木市庄		
延べ面積・構造等	21,322.12m <sup>2</sup> (RC 造 地上 14 階)		
用途	集合住宅		
CASBEE 総合評価	S ランク	BEE値	3.0
ヒートアイランド 対策に関する CASBEE 評価	Q3-3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0
	LR3-2.2 温熱環境悪化の改善		4.0
	(平均)		3.5